

シンポジウムと見学会のご案内

## 戦争を知らない子どもたち

話者:近藤力也 (公財)真田山陸軍墓地維持会 評議員 (元 陸上自衛隊 1等陸佐)

栗津賢太 上智大学グリーンケア研究所客員研究員

司会:葛西賢太 上智大学大学院実践宗教学研究科教授

日時:2024年6月23日(日) 14-17時

場所:上智大学(東京都千代田区紀尾井町7-1) 2号館508教室

翌週の6月30日(日)14時の、真田山陸軍墓地の見学会にもぜひご参加ください

開催形態:対面+オンライン開催 (ZoomMeetingによる)

主催:上智大学グリーンケア研究所

参加費:無料 事前申し込みをお願いします

申し込み:<https://forms.office.com/r/vg5VJrhRDT>



こちらのQRコードからもお申し込みできます

真田山陸軍墓地は大阪城南、JRと地下鉄の玉造駅そばにあります。西南戦争、日清・日露戦争以来の、非戦闘員を含む5000柱以上の墓碑、約8000余の遺骨が納骨堂におさめられています。とくに関西にお住まいの方々はぜひシンポジウムにオンライン等で、また翌週の見学会にご参加ください。

真田山陸軍墓地(大阪市天王寺区玉造本町14-83)



北山修が作詞、杉田二郎が作曲し、1970年の大阪万博で初めて披露され、広く歌われている名曲「せんそうをしらない子どもたち」から、シンポジウムのタイトルをいただきました。

世界大小の戦乱のニュースが続きます。いっぽう、日本では、戦争を記憶する世代はつぎつぎと世を去っています。初等中等教育での平和教育を済ますと、多くの日本人の日常から、戦争のリアリティは遠のいてしまいます。私たちは「戦争を知らない子どもたち」です。

きたる2025年には、日本は、戦後80年を迎えます。節目を期してさまざまな活動やイベントが来年には行われるでしょう。きっと多くのことが語られ、そして！忘れられてしまうのではないかと危惧されます。忘れがちなのは、なぜか。グリーンケアの視点を加え、考えてみたいと思います。

このたび、戦没者の慰霊追悼の現在について、一般市民も巻きこまれる戦場のリアリティと、歴史研究の最新の動向とをふまえて、語り合っていただく機会を設けました。きっかけとして、大阪の真田山陸軍墓地の様相を取り上げ、戦没者の慰霊・追悼が、なぜ忘却されてきたのかを考えてみたいとおもいます。

上智大学グリーンケア研究所は、創立以来、大切な人を喪う個人的な悲嘆と、多くの犠牲者が生じる事故や災害という公的な悲嘆とに、私たちがどう向き合うかに取り組んでいます。大阪と東京に拠点をもち、悲嘆について学が公開講座や、国内外の専門家と連携しての研究活動、傾聴者の養成を行っています。

<https://sophia-griefcare.jp/>